FUSO Corporation Recruiting Guide

水をつくる、いかす、考える。

FUSO



株式会社フソウ　リクルーティングガイド

Chapter 1

会社紹介編

会社概要
企業理念体系

Chapter 2

社会課題編

水インフラの普及
水インフラ業界の課題

Chapter 3

事業研究編

事業領域
部門紹介
フソウの強み

Chapter 4

採用情報編

募集要項
選考の流れ
育成体制
福利厚生
各セミナーのご案内
FAQ

会社紹介編



OUTLINE 会社概要

社　　名	株式会社フソウ
創　　業	1946年8月14日
所 在 地	東京本社：東京都中央区日本橋室町2-3-1 四国本社：香川県高松市郷東町792-8
代 表 者	代表取締役　社長執行役員　工藤 修
資 本 金	30億円
売 上 高	557億円（2026年3月期）
従業員数	878人（2026年3月期）

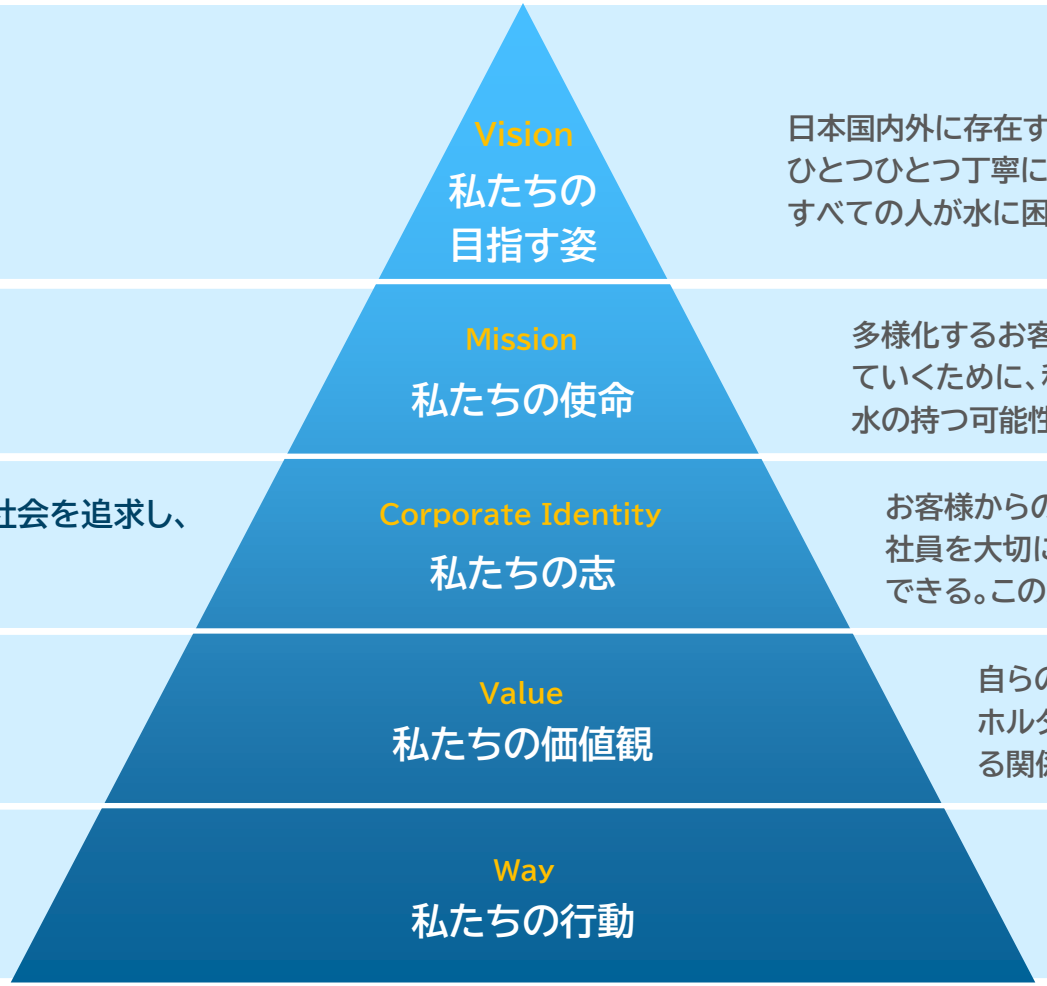




FUSO

Corporate Message

水と共に生きる



すべての人が水に困らない世界をつくる。

日本国内外に存在するあらゆる水の課題に対して、地域特有のニーズをひとつひとつ丁寧に拾い上げ最適な解決策を提供していくことで、すべての人が水に困らない世界の実現に貢献してまいります。

水をつくる、いかす、考える。

多様化するお客様のニーズを的確に捉え最適な解決策を提供していくために、私たちはあらゆる水の課題と真摯に向き合い、水の持つ可能性を追求し、柔軟に対応してまいります。

お客様が喜ぶことを追求し、持続可能な地域社会を追求し、社員の人生が豊かになることを追求する。

お客様からの信頼があって事業が行える。企業の財産は社員であり、社員を大切にすることでお客様へ質の高い製品・サービスを提供できる。この創業の理念を受継ぎ、選ばれ続ける企業を目指します。

顧客志向・三方よし・
Answers for Community

自らの利益のみの追求ではなく、事業の成功をステークホルダーや社会全体と分け合い互いに発展・成長していける関係づくりに重点を置くことが私たちの価値観です。

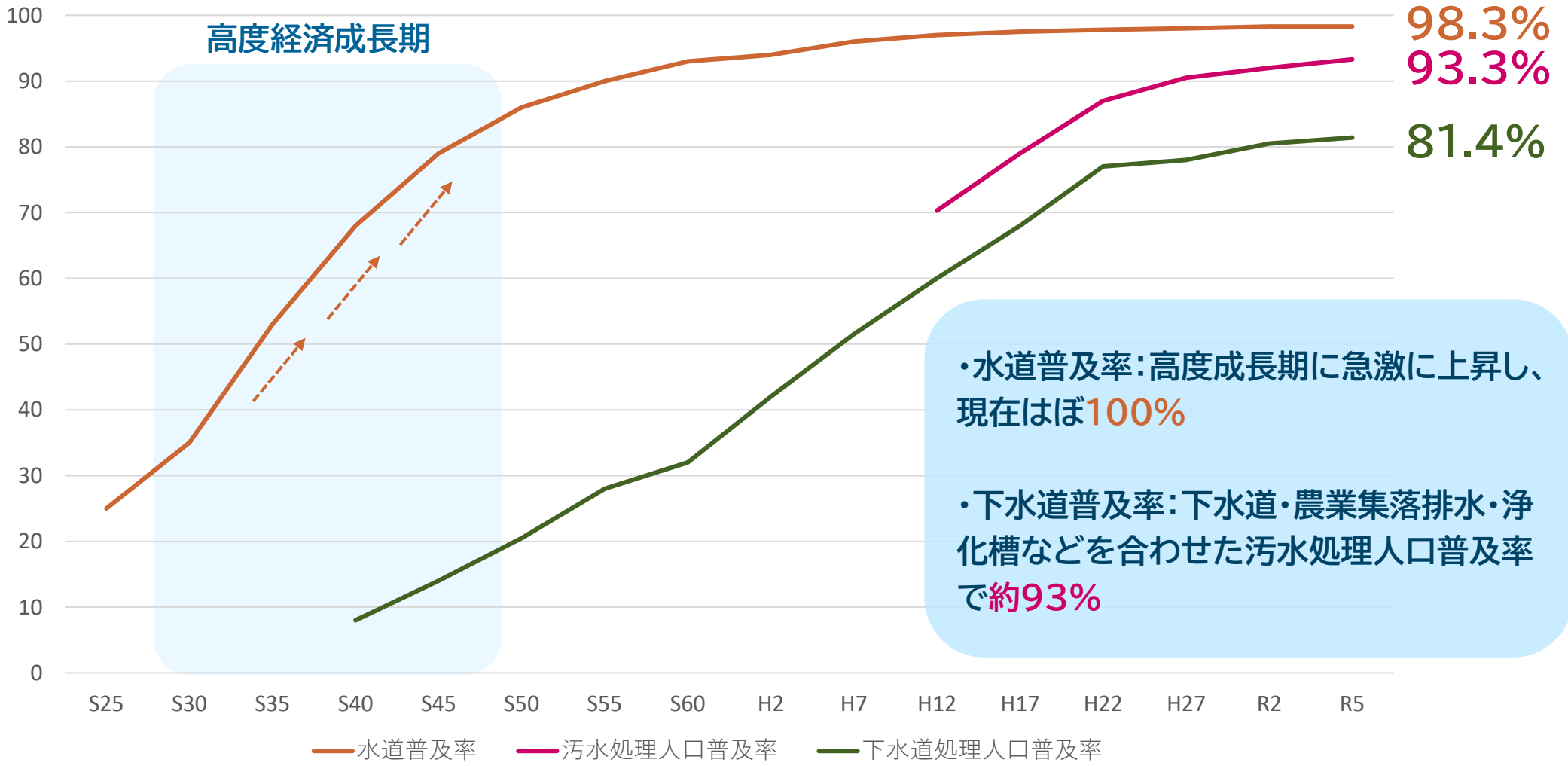
原理原則を基準とする
個の尊重とチームワーク

良好な人間関係はチームワークを高め、お客様へ提供するサービスの質を高めてまいります。

社会課題編



水道・下水道の普及率



・水道普及率：高度成長期に急激に上昇し、現在はほ100%

・下水道普及率：下水道・農業集落排水・浄化槽などを合わせた汚水処理人口普及率で約93%

国土交通省「上下水道の現状」より

老朽化

日本の水インフラの多くは、1960年代から70年代の高度経済成長期に一斉に整備されました。
水道管の法定耐用年数は「40年」。
まさに今この瞬間、日本中の地下に眠るインフラが一斉に寿命を迎えています。
法定耐用年数を超えた水道管は、約13万kmに及びます。
これは地球を3周以上する長さとなります。



災害リスク

「地震」による断水、「豪雨」による浸水災害など、
予測不能な自然災害に見舞われてきました。

その中で、災害に備えた設備の強化や災害後の早期の復旧対応など、昨今、レジリエンス力が求められています。
※レジリエンス力：ダメージを受けても、すぐに立ち直る力



水インフラ業界が抱える主な課題

料金収入の減少

「人口減少」や「節水技術の向上」などから、水道の料金収入が減少しています。
日本の水道は、皆さんが払う水道料金だけで運営される「独立採算制」をとっているため、
通常の水道事業運営の他、老朽化対策や災害対策も減少していく
水道料金の中で対応してかなくてはならない状況となっています。



自治体の技術者不足

水道事業を運営する自治体の職員数は、この30～40年で大幅に減少しました。
特に小規模な町では、「水道専任の技術者が一人もいない」というケースも珍しくありません。
自治体だけでは水インフラを守りきれない今、私たちのような
民間企業の技術力が、これまで以上に強く求められています。



水インフラ業界の動向　進む官民連携

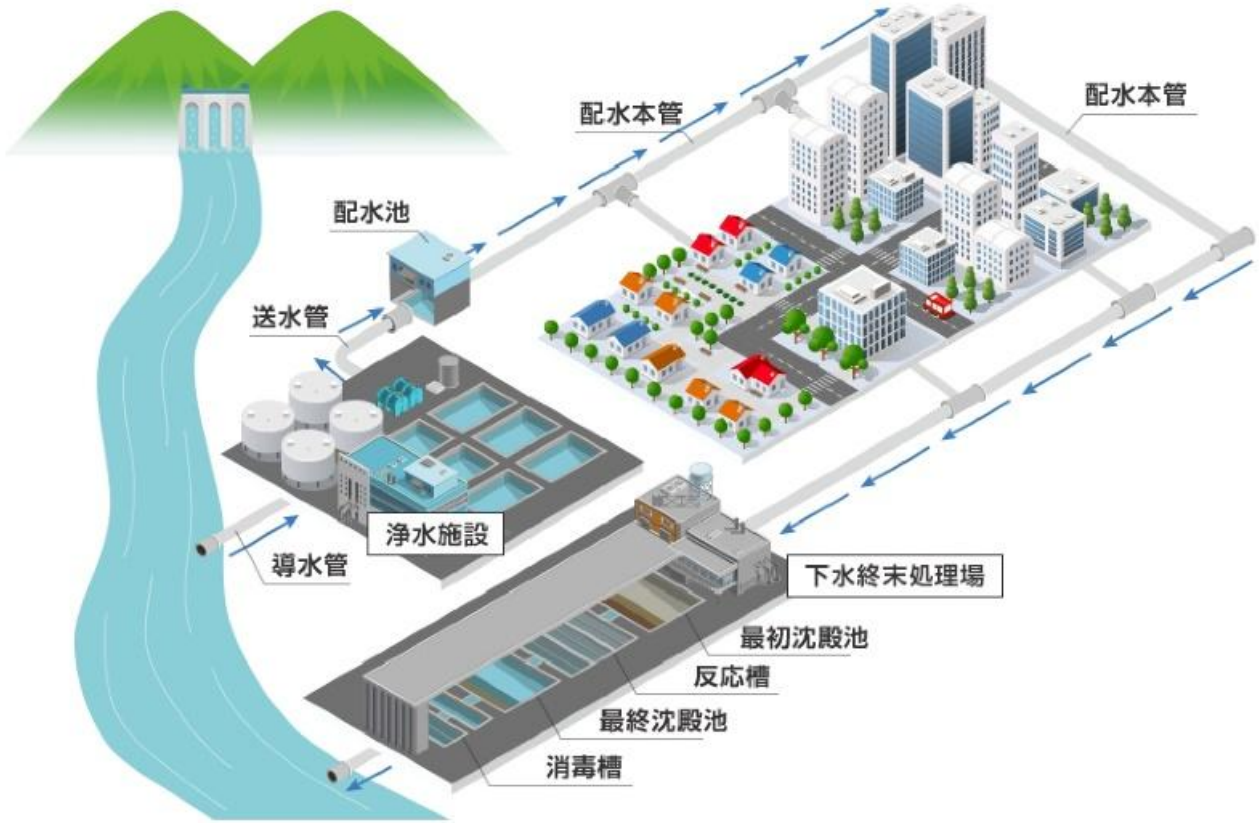
さまざまな課題を抱える中、国は「PPP/PFI推進アクションプラン」において水道、工業用水道、下水道を重点分野に位置づけており、
2022年度から10年間で225件の**水の官民連携（ウォーターPPP）**の事業化を目指しています。
これまで別々に契約していた維持管理と更新が一体となり、仕様での発注から性能での発注に変わります。
水インフラを一貫して手掛けるフソウの総合力が必要とされる時代に突入しています。
その中でフソウは、さまざまな分野の技術者とチームとなり、水インフラの課題解決に挑戦します。

水の官民連携（ウォーターPPP）とは？

水道や下水道の維持管理・更新を官民が連携して長期で行う新しい官民連携方式。

老朽化や人口減少、資金・技術不足に対応し、民間ノウハウを活用して効率化と安定的なサービス維持を目指す重要施策。

官公庁（水道事業者）　民間企業



事業研究編



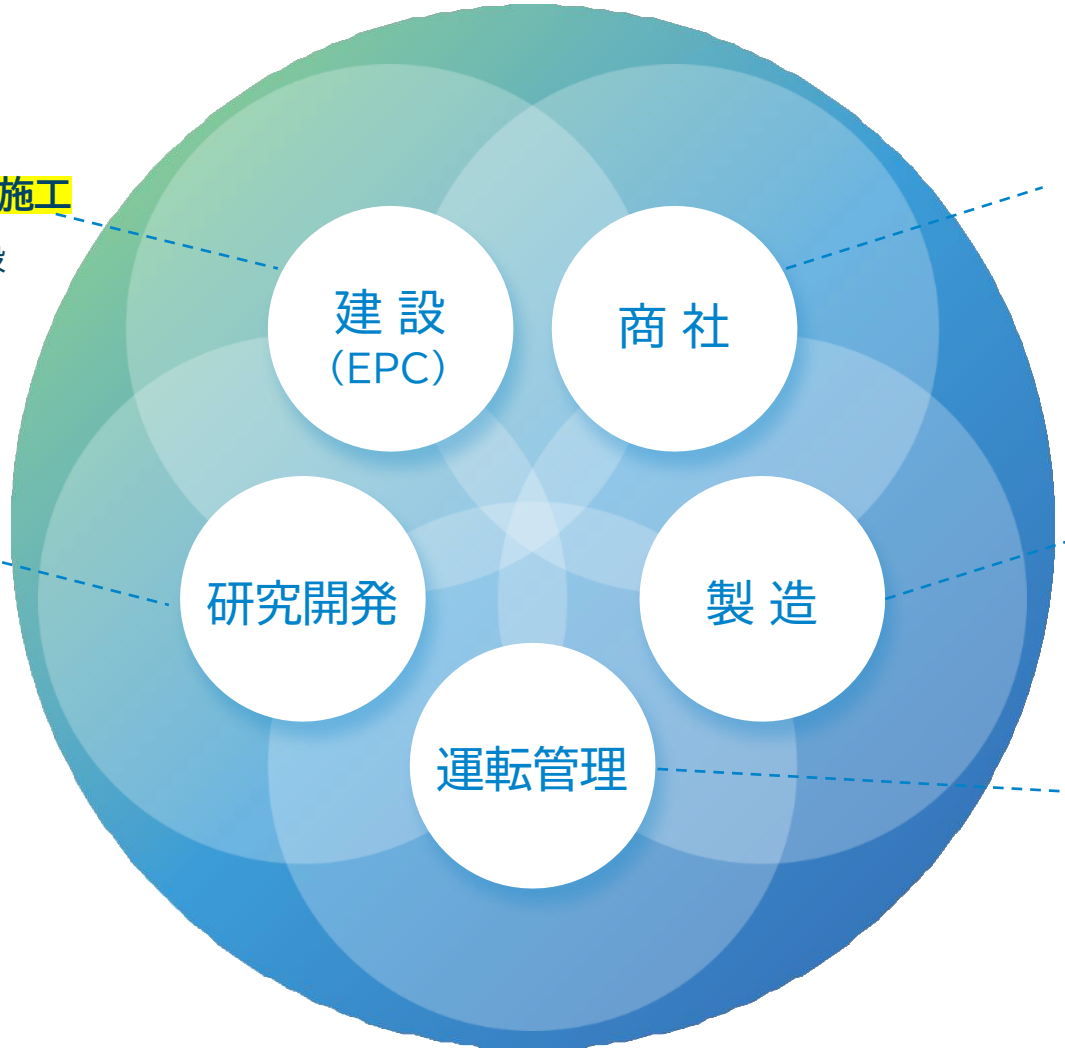
施設と管路を一貫して手掛ける総合水インフラ企業

土木、建築、機械、電気一式の設計・施工
給排水衛生、空調換気、電気設備の設計・施工

- 浄水場・下水処理場をはじめとした上下水道施設
- 小水力発電やバイオマス発電など再エネ施設
- その他、水に関わる様々な施設

水処理技術開発・共同研究（官民）
デジタルソリューション（DX）

- 水質コンサルティング
- 再エネを生む水処理技術の開発
- 陸上養殖における水処理技術の開発
- BIM/CIMを用いたデジタル技術の開発　など



上下水道資機材の販売（国内/海外）

- 取扱いアイテム7万点以上
- 取引企業700社以上

鋼管の製造（設計・製造・施工）

- 国内最大級の口径（5,000mm）
- 異形管・水管橋・耐震性貯水槽

上下水道施設の運転・管理

- 正常運転に向けた点検
- 修繕・メンテナンス
- 設備管理など

ENGINEERING, PROCUREMENT and CONSTRUCTION 上下水道施設のEPC

フソウは上下水道施設を設計から調達、建設まで一手に引き受けることができます。
お客様の多様なニーズに応えた設計、機器の調達、試運転に至るまで一括して責任を持って行います。



～注目Point～

フソウは、建設部門と並行して商社部門を構えています。
商社部門で様々な資機材を扱っているため、様々な選択肢の中からお客様のお悩みにマッチして技術提案を行い、
真のニーズに応えていく体制があり、他社では味わうことのできない「やりがい」を感じることができます！

入札 → 受注 → Engineering 設計 → Procurement 調達 → Construction 施工 → 納品 → O&M

入札

入札案件の受注に向け、営業担当が、ヒアリング・情報収集などのマーケティングを行います。
この情報を基に工事費用を検討し、入札に挑みます。



Engineering 設計

自治体を主とした、お客様のニーズや抱える課題の把握のため、ヒアリングや現地調査から始まり、企画・提案、基本設計・詳細設計を行います。



Procurement 調達

設計方針に基づき、
必要となる資機材の購入先選定、仕入れ、納期調整、協力会社との契約手続きなど行います。



Construction 施工

お客様のが求める性能や品質を担保するための品質管理の他、工事を安全に納期内且つ予算内に完成できるよう安全・工程・予算の管理を行います。



O&M

上下水道プラントの運転・維持管理をはじめ、改修工事や、建築物の空調設部を中心に電機や機械設備などの総合的なメンテナンスも行います。



SALES 上下水道用資機材販売

FUSO

フソウは水インフラに必要なパイプ・バルブなどの上下水道用資機材を700社を超えるメーカーから仕入れ、
日本全国の自治体、施工業者、販売会社にお届けしています。
創業以来培った「実績」と「商品知識」に加え、全国に広がるネットワークを活用することで、
お客様に寄り添ったきめ細かなサービスを提供し、様々なご要望に応えています。

クボタ社製品の
販売シェア
No.1

～注目Point～

- 販売だけではなく、建設部門で培った現場力を用いた技術的ソリューション提案など付加価値を提供しています。
- 建設部門で受注に至らなかった案件に対しても、商社部門で利益を生み出す安定した事業モデルとなっています。







SALES 鋼板製異形管の設計･製造

フソウの鋼管工場では、上下水道、農業・工業用水、電力用水など、あらゆる用途や施設に対応した鋼管を自社で、
設計～製造～販売まで一貫して手掛けています。
水インフラにおいて、特に異形管は血液を送る血管の分岐点のような、非常に重要でタフな役割を担っており、
水インフラ特有の複雑な動きや地形に対応するために「異形管」が活躍します。

水道用塗覆装鋼管
（異形管）
国内シェア
2位

～注目Point～

口径の小さな直管の製造とは違い、一つ一つオーダーメイドかつ職人の緻密な作業によってつくられるため、
高度な技術力が必要とされます。その中でフソウは、高いシェアを誇っています。







RESEARCH & DEVELOPMENT 水処理技術の研究開発、水質分析業務

FUSO

水質分析業務



事象発生現場での調査やラボでの
水質分析や再現性試験を行なうことで、
お客様が抱える水質に対する課題に対し
解決策を提案しています。

水質分析
pH、濁度、色度、
イオン、硬度、
金属有機、成分 等

汚泥分析
成分試験、
脱水性、
沈降性 等

水処理実験
ジャーテスト、
カラム試験
（ろ過、吸着 等） 等

事例 （浄水場の全面改築）

試運転開始当初は良好な凝集沈澱・急速ろ過により、清澄な水が得られていたが、
ある時期を境に原水濁度が急激に上昇。ろ過水濁度を0.1度以下に保つことが難しくなった。

現地調査、水質分析、ジャーテストを実施

▼

薬品注入位置による除濁効果の低下を再現

▼

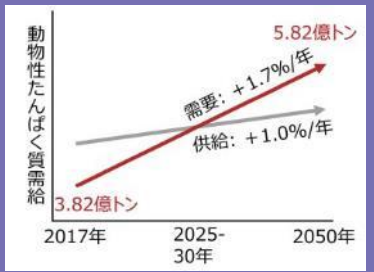
最適注入点、注入量を提案



“閉鎖型陸上養殖”の可能性

- 環境負荷が低い
- 生育環境や成長速度のコントロールが可能
- 病原菌リスクが低い

2050年までのたんぱく質の需要と供給



FUSO

バイオガス事業

資源循環型発電事業

- 低公害・省エネルギー
- 温室効果ガスの一種、メタンガスの回収
- 廃熱による消化タンク加温揚水の共有



例：下水汚泥消化ガス発電事業(民設民営型)

発電所名 原田処理場下水汚泥消化ガス発電所
事業内容 原田処理場の汚泥処理工程で発生した消化ガスの一部を処理場から買い取り
自ら建設した消化ガス発電施設で発電・ 売電(FIT)を行うと共に、温水を供給する

吸着材開発と共同研究



東日本大震災の除染廃棄物処理に、技術で貢献

東日本大震災とそれに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により発生した、膨大な量の災害廃棄物、除染廃棄物を可能な限り減容化し、最終処分量を減らすことが目的です。
フソウと産業総合研究所で開発した「吸着材」を用い、中間貯蔵施設内に実証試験施設を建設し、社会課題の解決に向け取り組んでいます。

共同研究機関(一例)

省エネ・創エネ・グリーントランスフォーション関連の技術開発をメインテーマとし、産総研・東大等とのムーンショット型研究開発事業「産業活動由来の希薄な窒素化合物の循環技術創出―プラネタリーバウンダリー問題の解決に向けて」をはじめとする研究を実施しています。
今後も、共同研究を通じて、水インフラに係る課題解決、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

- 国立研究開発法人 産業技術研究所
- 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
- 地方共同法人 日本下水道事業団
- 東京大学
- 京都大学
- 高知大学
- 長崎大学
- ベトナム ハノイ工科大学 など

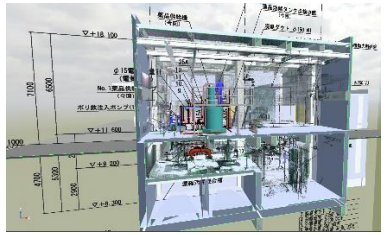


プルシアンブルー吸着材

RESEARCH & DEVELOPMENT デジタル技術の活用

FUSO

現場が抱える課題



- 複雑に設備や配管が入り組み錯綜している
- 図面が残されていない…
- 既設施設の状況が共有しづらい…
- 図面と実態のズレがあり、認識の齟齬が生まれやすく手戻りも発生しやすい状況

DX

デジタル空間に既存施設を再現することにより現場を「見える化」

生産性の向上へ

遠隔からも同じ目線で会話ができる	関係者がワンチームとなり「意思決定を早く・安全に・確実に」できる

- 着工前の予期せぬ干渉の早期発見⇒追加調査や手戻りの削減
- 作業動線や搬出入スペースの事前確認⇒現地作業・安全対策の適正な準備
- どこでも工事進捗の確認⇒見落とし・認識齟齬の解消
- 位置情報と紐づけた引継ぎ⇒引継ぎ事項の一元化

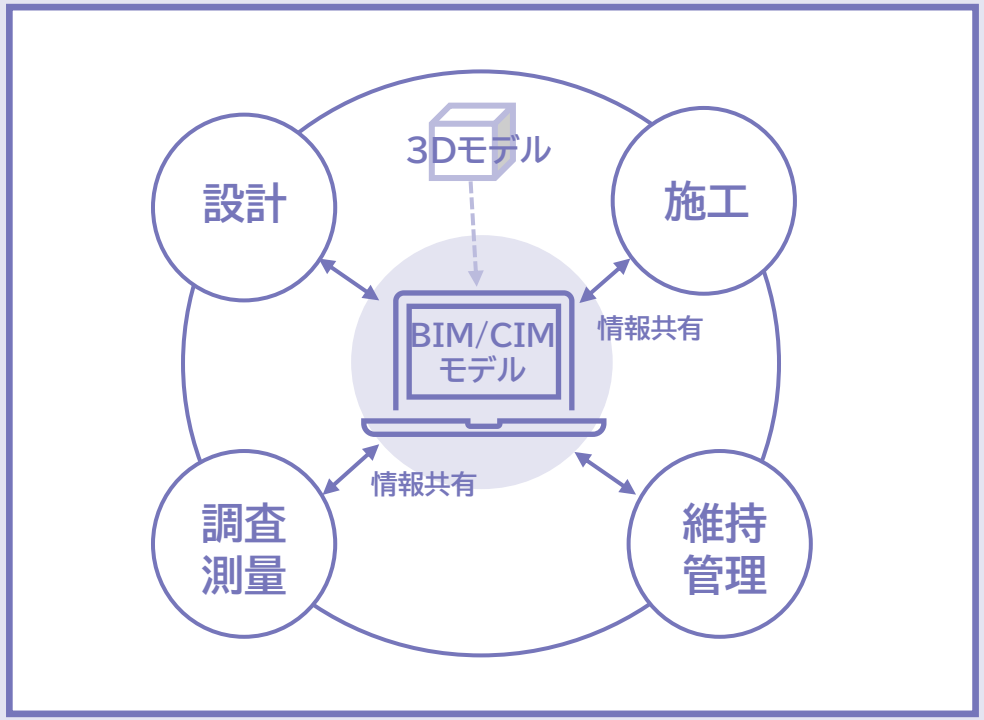
3Dモデル化

上下水道インフラ施設を「ありのままに」読み取り、「点群データ」ならびに「フォトグラメトリ」を活用し、複雑に入り組んだ現場の状況をすばやく再現。

×

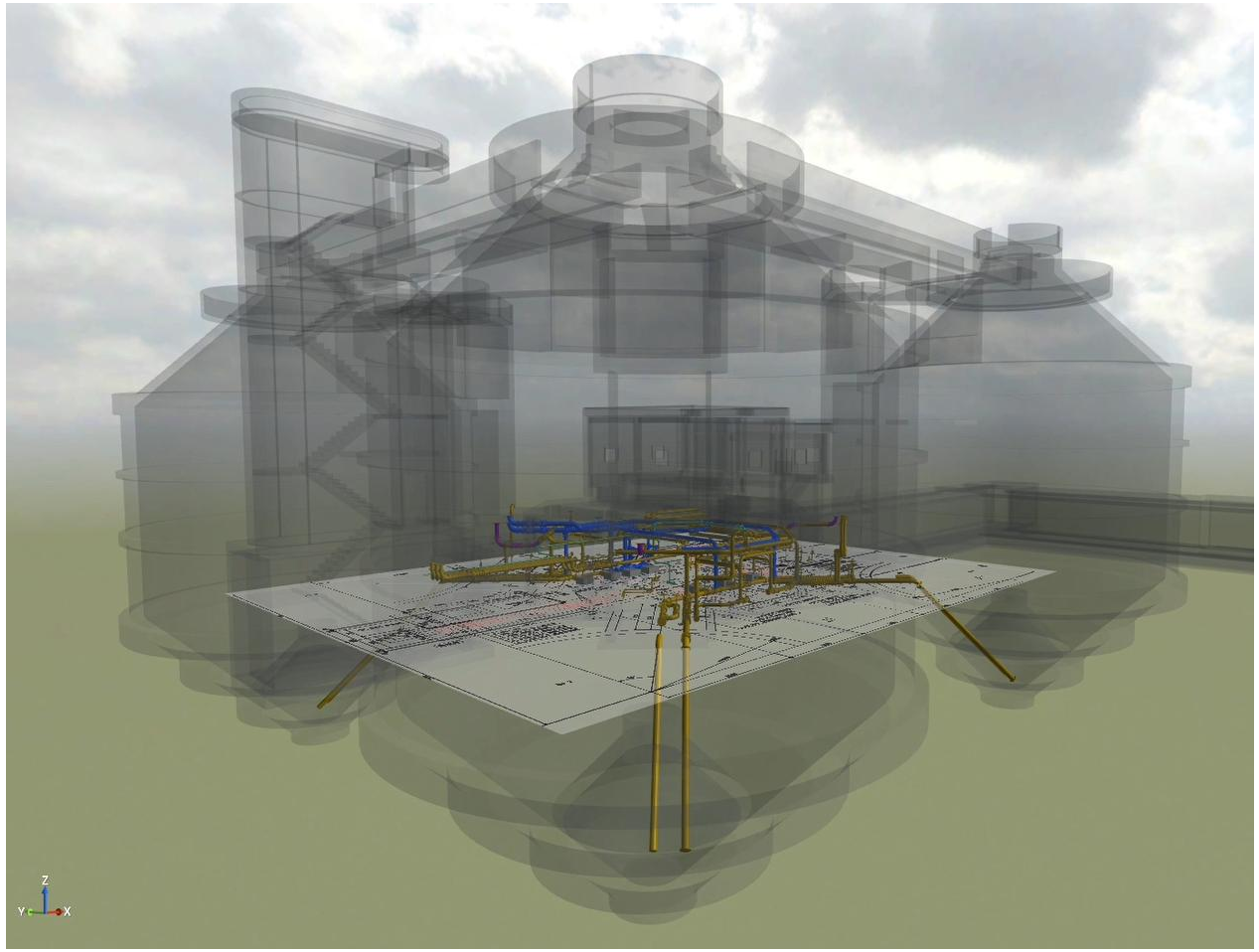
BIM/CIM

3D情報モデルを構築し、そこに属性情報を蓄積させ、関係者間で情報を共有し、業務効率化・高度化を図る建設生産マネジメントの概念。



3Dモデル化サービス、3D/2D統合コミュニケーションツールrevizto™

FUSO



3D/2D統合コミュニケーションツール
revizto

設計や施工現場に必要な情報を一元的に蓄積でき、
関係者間のイメージ共有や合意形成の迅速化を実現



特徴 1 現場と設計図面の差分チェック

特徴 2 遠隔コミュニケーション

特徴 3 永続的な施設管理情報の伝達

revizto(レビツト)は、BIM/CIM、点群、PDF図面、現場データを融合して表現させることができるツールです。クラウド上で動作するため、情報量が多いデータでも事務用のPCやタブレット端末で、操作が可能です。設計や施工現場に必要な情報を一元的に蓄積でき、関係者間のイメージ共有や合意形成がスムーズになります。デバイスやスキルに捉われないコラボレーションを実現します。

FUSO

水道業界MAP 2024



MAP作成：日本水道新聞社



MAP作成：日本水道新聞社

採用情報編



募集要項

採用数

総合職：40名程度
（施工管理、設計、建設営業、商社営業、研究開発）

給与

院　卒：月給260,000円
大　卒：月給252,000円（専攻科含む）＋**諸手当**
高専卒：月給232,000円（本科卒）

- 地域手当
- 住宅手当
- 時間外手当
- 現場手当など

大卒一人暮らしの場合（例）

▼東京本社配属		▼大阪支社配属	
地域手当	30,000円	地域手当	24,000円
住宅手当	30,000円	住宅手当	20,000円
月給計	**312,000円**	**月給計**	**296,000円**

昇給

年1回　※2025年度実績

賞与

年2回　※2025年度実績

勤務時間

8：30～ 17：30　※1時間休憩を含む

休暇

完全週休二日制　※年間休日数125日以上

勤務地

全国の事業所（北海道・宮城・東京・愛知・大阪・広島・福岡・香川）
※社内の人員状況・ご希望・適性を総合的に判断し配属先を決定いたします

選考の流れについて

特典 対面プログラム参加者は一次面接免除！



各種セミナー インターンシップ

WEB 一次面接

WEB 適性テスト

合否なし

WEB 二次面接

最終面接

内定



1カ月～2カ月

※OB訪問や面談、現場見学など
ご要望がございましたら遠慮なくお申し出ください。

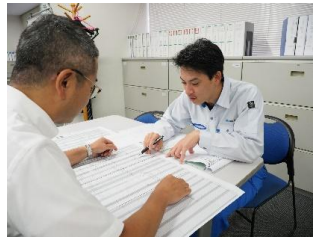
新入社員研修（2025年度実施例）

FUSO

研修プログラム

4月	5-6月	7月	10月	1月	4月
集合研修	事業部・本部研修	仮配属	正式配属	フォロー研修	1年経過
集合研修は、四国本社にて開催します。 ビジネスマナーから始まり、水インフラ業界やフソウの事業内容の理解を深めていきます。	事業部・本部にて、施工管理・設計・営業職をローテーションしながら、学んでいきます。 併せて、主要拠点の東京・香川・大阪とエリアもローテーションし、地域ごとの特徴理解につなげていきます。	研修内で確認できた適性や、ご希望、またその方を育てられる環境の有無など、様々な観点を考慮して、配属先を決定します。 仮配属後は、通常業務の中での育成となります。	仮配属先での状況を踏まえ、正式な配属先を決定します。 ※仮配属先で正式に配属となるケースがほとんどです。	仮配属から半年が経過したタイミングで、様々な、学びや課題を持ちよります。 先輩社員の講話などから、ヒントを得ながら、自身の今後のキャリアを整理していきます。	1年経過後も、等級別研修など、キャリア形成を支援する研修をご用意しています。
Off-JT	Off-JT&OJT	OJT			








フォロー

研修プログラムに紐づいたフィードバック

配属面談

上長面談＆コンディション確認面談

FUSO

＼長期視点で安心して働ける制度設計／

健康を支える



- 人間ドック
- 予防接種補助
- 団体長期障害所得補償保険

※病気やケガで長期間働けなくなったときの、
給与の補償（保険）

暮らしを支える



- 慶弔見舞金
- 退職金制度
- 確定拠出年金制度（401K）
- 財形貯蓄制度
- 住宅手当（地域による）
- 地域手当
- 寒冷地手当

ワークライフバランス整える



- 初年度より
  年次有給休暇20日付与
- 積立休暇制度
- 1時間単位の有給休暇取得

インターンシップ＆セミナーのご案内

FUSO

対面開催

一次面接免除
特典あり！

WEB開催

通年開催

エリア別　1day セミナー

交通費支給あり

● 開催場所
北海道支店・東北支店・東京本社・名古屋支店・大阪支社・
中国支店・九州支店・四国本社

● 概　　要

「働く自分」を具体的にイメージできる、職種理解ワークや座談会を予定しています。交通費の支給もございますので、ぜひ最寄りの拠点にお越しください！

職種別　疑似体験ワーク

● 職　　種
施工管理・設計・建設営業・商社営業

● 概　　要

施工管理・設計・建設営業・商社営業をゲーム感覚で学んでいただきます。
1日程1職種となりますので、各職種のセミナーに参加頂き職種理解を深めることをオススメします！

限定開催

サマーインターンシップ

交通費支給、
宿泊費手配あり

● 開催場所
四国本社（5days）
東京本社・大阪支社（3days）

開催終了

● 概　　要

ワークを通じて、業界や事業内容について理解を深めると同時に、現場見学やVRを使った体験から現場のリアルを体感いただきます。
また、各部門の若手社員との交流機会を豊富に設け、ご自身のキャリアイメージをつかんでいただくプログラムとなっています。

インターンシップ事前説明会

● 開催時期　4～7月

開催終了

● 概　　要

サマーインターンシップを検討されている方に向けた、インターンシップ説明会です。

選考対策講座

● 開催時期　10～12月

● 概　　要

選考会への不安解消を目的としたフォローアップセミナーです。求人や福利厚生の解説の他、面接対策のポイントなどもレクチャーしていきます。

水をつくる、いかす、考える。

FUSO